**ログイン認証**

**動的Webプロジェクトを作成**

**1**

**時間目**

ログイン認証とは

**ログイン認証機能**

ログイン画面からID、パスワード情報を入力し、データベースに保存されているID、パスワードと比較し、 入力情報と同じ情報が存在した場合はログイン認証成功、次の画面へ遷移します。 入力情報と同じ情報が存在しない場合はログイン認証失敗、ログイン画面へ戻します。

ログイン認証成功で次の画面へ 遷移します。

ログイン認証とは

当社カリキュラムで作成するログイン認証機能は、 1ログイン画面 2ログイン成功画面 3ログイン失敗画面 の3つを簡易的に作成します。

ログイン

ログインに失敗しました

ユーザー名とパスワードを 入れて、ログインをクリック。

成功画面と失敗画面の どちらかにページが移動します。

ログインに成功しました

作業目次

1) 全体の流れについて

2) 作業環境を作成

1: Eclipseを起動 2: 動的Webプロジェクトの作成 3: Struts2フレームワークを配備 4: プロジェクト内にpackageの作成ロジェクトの作成

全体の流れについて

**Java**

2 渡ってきた情報をJavaで処 理し、「処理結果」を「データ ベース」に送ります。

3 送られた「処理結果」 からデータを検索します。

4 「検索結果」と表示する「画 面ファイル」をフロントへ送り ます。

**データベース**

**画面 ファイル サーバサイド フロント MySQL**

入力情報

処理結果

**2**

処理 1 検索処理

処理結果

JSP 検索結果

検索結果

**3**

**4**

1 ユーザーが「ログインID」 「パスード」を入力し、「サー バーサイド」に送ります。

ログイン ログイン ログイン ログインID

パスワード パスワード パスワード パスワード

画面 ファイル

5 送られてきた「画面ファイル 」を表示します。

全体の流れについて

フロント フロントとは ブラウザ(IE、Chrome、FireFoxなど)でサイトを開いた ときに表示される画面のことです。

**1**

**4**

全体の流れについて

**サーバサイド Java**

3 送られた「処理結果」 からデータを検索します。

**2**

**3**

サーバーサイドとは サーバーサイド言語で作られた機能群のことです。 今回はJava言語を使うので、Java言語で作られた 機能群のことだと覚えておいてください。

**データベース MySQL**

3 送られた「処理結果」 からデータを検索します。

全体の流れについて

**2**

**3**

データベースとは データを保存、検索、取得、削除することが できる情報の領域です。

Eclipseを起動

解説

1 ホーム画面の「エクスプローラー」 アイコンをクリックします。

EclipseにはJavaプロジェクトの開発で必要なツールが用意されてます。 他のエディタツールでも開発はできますが、現場ではEclipseを使用しているプロジェクトが多いです。

**1**

Eclipseを起動 2「pleiades.zip」の解凍方法により

3「C」「eclipse」「pleiades」

「C」以降のパスが異なる可能性が

「eclipse」へ移動します。

あります。

ディレクトリの中にある「eclipse.exe 」をダブルクリックします。

Eclipseを起動

4 3と異なるパスパターン時の実行です。

5「C」「pleiades」「eclipse」へ移 動します。 ディレクトリの中にある「eclipse.exe 」をダブルクリックします。

6 「eclipse.exe」をクリックした後 どちらのパターンも上記の画面が表示 されれば、起動成功です。

Eclipseを使うときに

ログイン認証機能はEclipse上でJavaを使い、 一つのプロジェクトを作っていくことになります。

その際、「JavaEE」というJavaの拡張機能を使って作っていきます。 「JavaEE」はEclipseにも備わっています。

「JavaEE」をクリック。

動的WEBプロジェクトの作成

解説

1 「プロジェクト・エクスプローラー」の 余白部分で右クリック

動的Webプロジェクトでは、Javaを利用した動き(変化)があるWebページを作成できます。 例:ログインしたユーザ情報によってページに変化(動き)を付ける。

動的Webプロジェクト 2

2「新規」「動的webプロジェクト」の順番

で選択します。

動的WEBプロジェクトの作成

1 「プロジェクト名(M):」の欄に「login」 を入力して、完了ボタンをクリックします。

2 「Web.xmlデプロイメント記述子生成 (G)」にチェックを入れ、 完了ボタンをクリックします。

3 「プロジェクト・エクスプローラー」 に「login」プロジェクトが作られて いれば成功です。

Struts2フレームワークを配備

解説

1「http://struts.apache.org/」に アクセスし、「Download」ボタンを クリックします。

Struts2フレームワークを配備 3

Struts2フレームワークを利用してプロジェクトを作成するには、Strutsの公式サイトからフレームワークのjarファイルを ダウンロードする必要があります。

2 「struts-x.x.xx-all.zip」をダウンロードします。 無事に完了したら必要なjarファイルが揃います。 ※Strutsのバージョンは2.3.xx系を利用してください 他のバージョンでは互換性がありません。その為、こ こでは2.3.xxを選択してゆきます。

Struts2フレームワークを配備

3 「保存」をクリックしてください。 4 ダウンロードが完了後「フォルダを開

く」ボタンをクリックします。

Struts2フレームワークを配備

5 ダウンロードファイルが格納されてい る「ディレクトリ」が開きます。 対象のディレクトリの中に「struts- x.x.xx-all.zip」を探します。

6 「struts-x.x.xx-all.zip」を右クリック し、「解凍」または「展開」します。

Struts2フレームワークを配備

7 解凍が終わると「struts-x.x.xx」とい う名前のディレクトリが増えます。 「struts-x.x.xx」をダブルクリックしま す。

8「struts-x.x.xx」ディレクトリの中に 「lib」ディレクトリがあります。 次に「lib」ディレクトリをダブルクリッ クします。

Struts2フレームワークを配備

9 「lib」ディレクトリの中には多くの 「jar」拡張子ファイルが存在します。 「strutsフレームワーク」に必要なファイ ルだけを取得します。

10 上記の9つのjarファイルを探します。

Struts2フレームワークを配備

11 探したjarファイルを「プロジェクト」 「WebConent」「WEB-INF」「lib」デ ィレクトの中にコピーします。

12 「lib」ディレクトリの中にコピーした jarファイルが入れば成功です。

プロジェクト内にpackageの作成

1 「プロジェクト」を右クリック、 「新規」「パッケージ」を選択します。

2 「名前(M):」の欄にパッケージ名を入力しま す。 今回は「com.internousdev.login.action」と 入力して完了をクリックします。

プロジェクト内にpackageの作成

3 入力したパッケージが作成されて いれば成功です。

login.action

4 1〜3の手順を後3回繰り返します。 以下のpackageを作成します。 1."com.internousdev.login.dao" 2."com.internousdev.login.dto" 3."com.internousdev.login.util"

5 全部で4つpackageを作成すれば 完了です。